

程窪・泥浮山・長桜自治区 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成28年7月27日（水） 午後2時30分～4時30分

2. 対象地区・団体

程窪・泥浮山・長桜自治区

3. 代表者・参加者等

田崎眞平長桜自治区長、新田康弘程窪自治区長、伊藤一泥浮山自治区長
参加者計13人
長谷川秀力縄沢自治区長、青津縄沢自治区長代理

4. 開催会場

旧上谷分校

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、参事兼総務課長 新田新也、企画情報課長 大竹 享、建設水道課長 成田信幸、町民税務課長 五十嵐博文、農林振興課長 玉木周司、商工観光課長 伊藤善文、建設水道課長補佐 佐藤広悦、企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課副主査 長谷川祐一

6. 代表自治区長あいさつ 田崎眞平 長桜自治区長

別紙のとおり。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明

今年度の町政方針、町の地方創生の取り組み、重点事業などを説明。具体的には、人口減少・地域活性化対策の地方創生では、産業活性化と雇用拡大を図るため、菌床きのこ栽培の大規模産地化や、森林資源を活用したオガ粉生産、チップ・ペレットなど木質バイオマス燃料生産などを検討する森林資源活用型新産業づくり計画の策定を進めていること、また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、今年度から出産祝金を第1子目からの支給に拡充するとともに、来年4月の開園に向け認定こども園を整備していることなどを説明。

交流人口の拡大では、移住・定住推進の取り組み、福島ホープスや、慶応大学野球部などさゆり公園周辺施設を活用した誘客、農産物等の風評被害払拭の取り組みなどについて説明。さらに、健康づくり事業や認知症対策、サロン活動などについても説明。

8. 事業説明

まず、林道泥浮山線の落石、雪崩箇所の対策について、別添の「3 林道泥浮山線等の落石、雪崩箇所の対策について」に記載の内容により、成田建設水道課長が説明。

次に、家庭ごみの分け方・出し方について、資料により五十嵐町民税務課長が説明。

9. 縄沢自治区共有地の状況等の説明 長谷川秀力 縄沢自治区長

本日午後1時半より町長はじめ町と、3自治区の皆さんで現場を見てきました。林道泥浮山線については、毎年、3自治区の皆さんで草刈りなどの維持管理を行っていただいております。

上谷の皆さんにとって林道は毎日の生活に欠かすことのできない道路であり、このため、皆さんの安全・安心な通行に向け、縄沢自治区としては、保安林の指定に向けて町のお世話になりながら進めていきたいと思っております。防護柵が完全にできるまで、町と連携し、保安林の指定に向けて、この後、縄沢では権利者による会議を開いて進めていく予定です。今日は、上谷の皆さんの意思がよく分かりました。懇談会に出席させてもらいありがとうございました。

10. 事業説明に対する質疑応答等

[町]

上谷地区は雪が多いと思います。このため雪崩が発生すれば道路の半分以上を塞いでしまいます。そういった状況になることは十分理解しています。したがって、冬から雪崩の起きやすい春先にかけては、余力のある時に雪庇除去の対策を取らせていただきたいと思います。

落石については、道路の幅員があるところは、土のうなどを設置することができますが、道路が狭いところはなかなか困難な状況です。そういった場所はどうすればいいのか検討してみたいと思います。

[長桜自治区長]

応急的な対策として、この秋から冬にかけて心配がないようにということで、いろいろな対策あるいは、土のうを置いて交通の安全を図ることなので、どうか早急に施工していただきますようよろしくお願いします。

11. 地域課題等について

3 自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ担当課長等より回答。内容は別紙のとおり。

12. 意見交換等

[質問等]

空き家対策について、家屋を壊した後の税金が高くなると聞きましたが、詳しく教えてください。

[町]

都市部等で問題になっておりますが、住宅が建っているところは宅地になります。宅地に住宅を建てた場合、200㎡までは6分の1で、200㎡を超えた部分については、3分の1というふうに住宅特例があります。これは建物が建っているため土地の税金に適用されるわけですが、建物が無くなった場合は、この特例が外れます。このため200㎡までの場合、単純に6倍になるといわれています。逆に、建物の分の固定資産税はかからなくなります。

[質問等]

空き家を壊すにあたっては、兄弟等の親族の承諾書は必要になるのでしょうか。持ち主だけでいいのでしょうか。

[町]

建物を壊すかどうかは、その所有者が決めていただければいいと思います。

[質問等]

林道泥浮山線の現場を見てもらって、お分かりだと思いますが、林道に入って来て、最初の橋を渡る手前のカーブの上のところ、木が2本ぐらい倒れているので、大雨などで落ちて来る可能性があると思います。マツもあります。根が逆さになってやっつくっ付いている状態なので、工事を始める前に、その木の処理をまず何とかしてもらいたいと思います。雨や雪の日は、上の状況を見ながら通行している状況です。何とか対策をお願いします。

[町]

山の所有者は縄沢の皆さんになります。危険であるため伐採してほしいということは、縄沢に連絡し対応してもらおうことになります。

[質問等]

今の場所の少し下に、太いケヤキがあり、そのケヤキも根がえぐられて、いつ道路に落ちてくるか分からないということで、枝だけ払ってもらったことがありました。倒れにくくなるだろうということで。そのときは、縄沢自治区にお願いしましたが、なかなか自分たちではできないため、送電線の関係で、東北電力に頼んで枝を切ってもらった経過があります。

縄沢自治区長は、危険であれば、全部、根元から切ってもらっていいと言っており、また、土砂が落ちないように法面も切ってもらっていいと言われていますが、なかなか自分ではできませんので、町からベテランの作業員を頼んでいただいて、上の4本のマツ、倒れている木を処理してもらった後に、土のうを設置してもらったほうがいいのではないのでしょうか。

[町]

保安林の指定の関係で、早速、縄沢の地権者の皆さんに集まってもらって、いま出された話をさせてもらい、対応してもらおうよう町から話をしたいと思います。

[質問等]

おそらく地元に伐採をお願いしても、なかなか切れないと思いますので、町の方で切るようにしますから、というようなことで、何とか話を進めていただければと思います。

[町]

分かりました。

[質問等]

道路の維持管理についてですが、若い世代で頑張って、何とか道路を維持できていますが、若い人に町に留まってもらうためにも、負担を少しずつ減らしてあげたいと思っています。縄沢から長桜までは約4キロあります。(草刈りを)夕方まで目いっぱいやっていただいている状況で、作業は1日がかかりとなり、若い人たちに聞いてみると休みがつぶれてしまうと言われます。多少なりとも、この負担軽減について、何とかお願いできればと思います。

[町]

ほかの集落からも同じような意見が出されています。こうした課題、ではどうあるべきかということも踏まえながら検討していきたいと思っています。その検討の一つは、資材などが必要な場合の補助、さらには、シルバー人材センターが可能であるかどうか分かりませんが、さゆり公園周辺などについてはある程度、お金がかかりますが、シルバー人材センターにやってもらったことがあります。こうしたことが可能なかどうか、可能性も含めて検討させていただきたいと思っています。

もう一つは、ガードレールなどが全く無いところは、トラクターのような大型機械で自動的に道路わきの草を刈れる機械があります。ガードレールなどがあるところは難しいですが。また今は、押しして作業する草刈り機が主流になってきましたので、そういったように機械化を図っていく必要もあるのではないかと思います。草が伸びてしまうと駄目ですが。機械の導入についても検討させていただきたいと思います。

[質問等]

6月半ばと、この7月20日の年2回、草を刈っています。関連しますが、道路の側面を刈るのも大変なんです、道路わきのオールの上を刈るのに、蜂がいたりして大変危険です。草が生える部分に、何か防草材などでオールの上を刈らなくてもいい方法、そういった方法があれば草刈りがだいぶ楽になると思います。試験的にでも試してもらいたいと思います。

[質問等]

旧上谷分校の改修についてですが、トイレの使用については、年配者が大変苦勞しているところ、また大学生も男性と女性と一緒にトイレに入りづらいという状況です。何とかこのトイレの改修と、それから壁の撤去による教室の拡張、建物周辺の舗装整備を何とかやってもらえれば本当にうれしく思います、いかがでしょうか。

[町]

町所有の建物であっても自治区で使用している集会所等の改修については、自治区に事業費の6割の負担をいただいています。こうした施設は、町内にいくつかあります。

ただ仮に、地元の負担を無くすようにして、何かやれないかといった時に、ここでの今までの天空の郷プロジェクトで、ストーリーを書いていただいて、ここで体験学習をしたいとか、子どもを呼び寄せたいとか、あるいは、夏期期間中に、ここをメインとして事業を実施するとか、一つのストーリーを作って、県に提出をして、補助事業を使うというようなことの方がいいのではないかと思います。

天空の郷プロジェクトの実績がありますので、ストーリー作りは地元の皆さんのほうが上手いのではないのでしょうか。天空の郷を活かした方がよいのではないかと思います。

何をやるにしても、やはり一定の負担というものが生じてきます。今回、いろいろな要望がございましたが、全て町が負担するのではなく、町で実施する部分と、それから地元負担もいくらかいただきながら、やはりやっていかなければならないというものがございまして、そこは予め理解しておいていただきたいと思います。

それからトイレ改修の関係で、浄化槽は合併処理浄化槽が基本となりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今後、県の使える補助事業がないかどうか調べてみたいと思います。